

報告事項 2 令和 4 年度重点方策及び重点事業

本会は、「県民の健康な生活に寄与する」ことを目的として「看護職としての職業倫理・資質の向上」「働き続けられる環境づくり」「人々のニーズにこたえる看護領域の開発・展開」の活動を進めている。

地域包括ケアシステム構築の目途とされている2025年を目前に控え、これまで「地域包括ケアにおける看護提供体制の構築・推進」を中心に重点方策を定めて取組みを推進してきた。今後においても継続して取り組む重要な課題であり、「看護人材確保」「病院と在宅のシームレスな看護の提供」「より複雑多様化する医療・看護・介護に対応できる看護職の育成」を着実に推進していく必要がある。

昨年度、本会においては、さらにその先の2040年の社会を見据えて、看護に関わる社会の変化を概観し、看護職を取り巻く問題点、本会の取組みの現状と課題を踏まえながら、今後の活動のあり方について検討を行い、これからの事業展開の指標となる「兵庫県看護協会活動のあり方ー2040年を展望してー」をとりまとめた。その中で、本会が目指す看護を「時空を超えて創造する、つなぐ・つながる看護」「県民の誰もが自らの生き方を選択でき、どのような状況であっても心から幸せを実感できる生き方を支える看護」とし、目指す看護を実践していくために「看護の価値を広め、魅力ある職業にしていく」、「全世代型地域包括ケアを推進するため、地元に根付いた看護を創造する」の2点を活動のあり方として掲げ、当面5か年に本会が取り組む6つの項目を定めた。

令和4年度においては、この6項目をもとに、令和3年度までの取組みとそれらの成果を踏まえつつ現状に応じて段階的に推進していくため、下記の6項目を重点方策とした。

この重点方策のもと、これまで積み上げてきた事業との継続性を重視して引き継いでいくとともに、先を見据えて新たな事業を加え、充実を図っていく。

兵庫県看護協会活動のあり方 ー2040年を展望してー 【当面5か年の取組み】	【令和4年度重点方策】
1 看護職の人材確保と定着促進	1 看護職の人材確保と定着促進
2 看護職の能力拡大	2 キャリア開発支援
3 県民への健康づくり・地域づくりの支援	3 全世代型地域包括ケアシステムを支える看護機能の強化
4 多職種・異分野との連携の推進	4 勤務環境改善の推進
5 災害・健康危機支援体制の強化	5 災害・健康危機支援体制の強化
6 組織力（団体としての力）の強化	6 職能団体の組織力強化

【令和4年度重点方策・事業】

1 看護職の人材確保と定着促進

看護職員需給推計では、2025年の地域医療構想の実現に向けた必要看護職数から約4,000人が不足、特に在宅分野で2,800人不足するとされ、これまでの事業だけでは、社会的変化への対応が難しいことから、新たな切り口で看護師確保事業に取り組む。次代の看護を担う人材確保に向け、看護の日のイベントなどで若者層向けに看護の魅力を伝え、若い世代の関心が得られるような計画とする。新たな看護師確保事業を企画するために、若い学生の意見や現場の看護管理者の意見を事業企画に反映させる。

また、定着促進については、看護職として成長するための看護教育や労働環境改善だけでなく、キャリア支援も必要である。プラチナ世代になってからのセカンドキャリア支援だけではなく40代以降のキャリア支援の重要性について普及推進していく。さらに、看護職業務改善の取り組みを県内の看護職と共有できるようにする。

地域や介護施設等あらゆる場で働く看護職が、生涯を通じて継続的に学習し、つながることで地域の看護職強化を図り、誰もが専門職として自信と誇りをもって働き続けられるよう支援する。

- (1) あらゆる場で働く看護職の人材確保
- (2) 地域で働く看護職の定着促進

2 キャリア開発支援

生活と、保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護ができる看護職を育成するために、臨床実践能力の段階別到達目標を基に構築された JNA ラダーを踏まえ、看護職の多様なキャリア開発支援を行う。

あらゆる場で活動する看護職の実践力の向上、自律的な行動を支援するための教育研修の充実強化を図る。社会の動向を見据え、地域包括ケアシステムをさらに推進できる「先見性を持つ力」や「地域社会の中でリーダーシップが取れる力」を養い、創造的に、柔軟に変革できる看護管理者を育成する。

- (1) 複雑化する保健・医療・福祉に対応できる看護職の育成
- (2) 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成への支援

3 全世代型地域包括ケアシステムを支える看護機能の強化

住み慣れた地域で安心して最期まで自分らしく暮らし続けられるよう、全世代型地域包括ケアシステムの構築推進が重要であり、切れ目ないケア提供体制を構築するために看護がキーパーソンとなって、地域での健康づくり、地域づくりをすすめていく。

県民が生涯にわたる健康づくりや健康課題に対応できるようまちの保健室、ホームページ等で県民向けに情報を発信する。

高齢者・妊産婦・乳幼児など全世代を対象とした在宅療養支援に向けた退院支援、外来看護の強化、多職種連携を進めていくためには、看護管理者の役割が重要であり、看護管理者間のネットワークの強化や、日頃から保健所や市町、関係者が共に取り組み、情報交換ができる身近な関係性を推進する。

- (1) まちの保健室（拡充）
- (2) 健康寿命の延伸に向けた支援（新）
- (3) 看護職間の連携や多職種との協働推進地域ネットワークの充実
- (4) 保健師職能、助産師職能と連携した母子のための地域包括ケアシステムの推進

4 勤務環境改善の推進

労働力人口の減少や医療・介護提供体制の改革により、看護を取り巻く環境が変わる中、看護職がより専門性を発揮できる働き方の推進や生産性の向上、看護サービスの質の向上を図るため、看護業務の効率化が求められる。

看護職の働き方改革、看護の専門性の発揮等、生涯にわたり安全に安心して働き続けることができるよう、ワークライフバランスの支援継続、ヘルシーワークプレイス（安全で健康な職場）の推進、看護補助者・多職種等との協働の推進など、タスクシフト/シェアを含む看護業務の効率化に向けた取り組みを推進する。

(1) 業務効率化の推進

(2) 働き続けられる職場環境づくり

5 災害・健康危機支援体制の強化

台風・豪雨等による被害が頻発し、また、地震等の自然災害が多発化、激甚化している状況のなか、災害時における医療・看護の支援の必要性が増している。また、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、地域の医療逼迫の事態を経験し、災害時だけではなく感染症等の健康危機においても、看護がつながり、地域ごとに補完しあえる仕組みの必要性が見えてきた。

災害支援ナースの養成のほか、感染症に関する専門的な知識・技術を持つ看護職を育成し、感染症に対しても看護の応援体制・受援体制についての仕組みを整え、地域や施設を越えた看護人材の活躍により、平時からの関係団体や自治体との連携強化、地域の看護ネットワークづくりを進めていく。

(1) 災害に備えた支援・受援体制の整備

(2) 平時からの関係構築

(3) 新型コロナウイルス感染症対策強化

6 職能団体としての組織力強化

会員の確保に向け、会員のニーズに合わせた会員サービスの充実・強化とともに、ホームページ等の充実、若年層への浸透を図るための SNS の活用による情報発信の強化等、広報活動の充実を図る。

加入の少ない病院、施設に対して入会促進活動を強化するほか、看護学生に対する協会活動の PR 等会員拡大に向けた取り組みを強化する。

また、県民向けリソースナースネットワークによる講師派遣など県民の健康と安全を守るための事業の一層の充実と、県民にもわかりやすく有用なホームページの充実を図り、県民向けの情報発信を強化する。

効率的・効果的な運営体制の確保とともに、教育研修関係事業、訪問看護ステーション事業等主要な事業の積極的な展開の一方で、多様な収入の確保・拡大と費用の抑制に努め、健全経営の維持を図る。

(1) 会員の確保・拡大

(2) 認知度の向上

(3) 支部の活動・体制の強化

(4) 経営基盤の安定化

令和4年度事業計画（案）

事業計画は、定款第4条に規定する次の9つの事業に沿って掲載した。

1. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業
2. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業
3. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
4. 地域ケアサービスの実施及び促進に関する事業
5. 災害、健康危機支援に関する事業
6. 看護の国際交流に関する事業
7. 看護の普及啓発に関する事業
8. 施設の貸与に関する事業
9. その他本会の目的を達成するために必要な事業

事業内容の**重**太文字は重点事業、**新**下線は新規事業

1. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業（重点1）**定款第4条第1項第1号**（71,216千円）

看護基礎教育や継続教育、資格認定教育等を通して看護の質向上や人材育成を推進するとともに、看護研究や学会等学術の振興を図る。

事業内容	実施状況
1) 資格認定教育に関する事業（重点2） (1) 認定看護管理者教育課程	10研修 延べ日数108日 延定員数 570名 ・ファーストレベルⅠ期 定員60名 令和4年5月11日～6月3日 105時間 18日間 ・ファーストレベルⅡ期（木・金・土）定員60名 令和4年6月23日～7月29日 105時間 18日間 ・ファーストレベルⅢ期 定員60名 令和5年1月11日～2月日 105時間 18日間 ・セカンドレベル 定員60名 令和4年10月26日～12月9日 180時間 31日間 ・サードレベル 定員30名 令和4年8月23日～10月6日 180時間 31日間 ・ファーストレベルⅠ期フォローアップ研修 令和4年12月16日 ・ファーストレベルⅡ期フォローアップ研修 令和5年2月10日 ・ファーストレベルⅢ期フォローアップ研修 令和5年6月9日 ・令和3年度ファーストレベルⅢ期フォローアップ研修 令和4年6月10日 ・令和3年度ファーストレベルⅣ期フォローアップ研修 令和4年8月5日 ・看護管理実践発表会（第4回）令和5年2月25日

(2) 認知症看護認定看護師教育課程 (B 課程)

(3) 資格認定者の資質向上対策のための研修

2) 継続教育に関する事業 〈重点2〉

(1) 看護師・准看護師を対象とした継続教育

令和4年4月12日～令和5年3月31日 入講生20名
研修他 延べ日数5日 延定員数 300名

- ・認定看護師フォローアップ研修 1日60名
- ・CNS/CN/認定看護管理者実践報告会 1日60名
- ・特定行為研修修了者の実践報告会 1日60名
- ・認知症看護認定看護師教育課程 (B 課程) 入講説明会
令和4年8月上旬 60名

59研修 延べ日数75日 延定員数4,720名 6) は重点3

1) 新人看護職員集合研修 4研修

2) ジェネラリスト研修

新 COVID-19シリーズ研修

新これだけは知っておきたい感染症の基礎知識と予防対策

新感染対策エキスパートナース養成 (令和3年度～)

ベーシックコースⅠ・Ⅱ

新アドバンスコース

新呼吸器疾患をアセスメントするために知っておきたい知識

新コロナ禍における糖尿病の療養支援を考える

新高齢者の暮らしを支えるケア

検査所見の見方・捉え方

薬物療法と療養支援

新人生最終段階の意思決定 part2-

コミュニケーションスキル向上のためにー

新「私らしく」を支える看取り

新治療を受けながらがんとともに生きる人を支える看護師の役割

新専門看護師の実践から学ぶ!

看護場面で遭遇する倫理的ジレンマへの対応

新よくわかる看護研究の実際

ーレッツ!! 研究計画書の作成ー

・事業継続計画 (BCP) 策定

フォローアップ研修

3) 教員・実習指導者を対象とした研修

専任教員養成講習会 令和4年5月～11月

新実習指導者講習会フォローアップ研修

実践能力を高める実習指導の方法

4) 診療報酬に関連した研修

新小児在宅移行支援指導者育成研修

新看護補助者の活用推進のための管理者研修

①②③④「急性期看護補助体制加算・看護補助者加算」対応

看護職員認知症対応力向上研修①②

	認知症高齢者の看護実践に必要な知識 糖尿病重症化予防（フットケア）研修 JNA 主催：医療安全管理者養成研修（演習）①② 5）准看護師を対象とした研修 <u>新准看護師のための看護実践力スキルアップ</u> ―急変対応と感染予防策― 6）復職支援・離職防止のための研修（重点3） 7）研修会・講演会 6 研修 述べ定員数800名 施設代表者会 講演会 令和4年8月・令和5年3月 看護実践研究会 令和4年11月23日 メインテーマ：「身近な疑問を解決しよう」 教育講演講師：昭和大学保健医療学部看護学科 教授 富田真佐子 氏
(2) 助産師を対象とした継続教育	9 研修 延べ日数9日 延定員数360名 ・新人助産師研修 4 研修 ・<u>新骨盤ケア</u> ・<u>新産褥ケアに活かす育児とメンタルヘルスケアの基礎知識</u> ・<u>新チームで乗り切ろう!! 分娩期の怖〜い場面!</u> ・現場で取り組む母乳育児支援 ・周産期の感染予防対策 ― COVID-19を中心に―
(3) 保健師を対象とした継続教育	2 研修 定員数 75名 ・保健師バンク登録者研修 ・保健師技術研修
(4) 看護管理者を対象にした継続教育	9 研修 延べ日数9日 延定員数900名 ・<u>新看護管理者のための COVID-19に関連したメンタルヘルスケア（COVID-19シリーズ研修）</u> 看護補助者の活用推進のための管理者研修①②（再掲） 在宅療養支援における外来看護管理者の役割 人材育成のためのクリニカルリーダーの活用方法 ―スタッフのキャリア支援につなげる― 主任のための役割講座・看護師長のための役割講座
(5) 資格認定教育	・認定看護管理者教育課程（再掲） ・認知症看護認定看護師教育課程（B 課程）（再掲） ・看護管理実践発表会（再掲） 論文の書き方①②③ ファーストレベル公開講座 3 研修 セカンドレベル公開講座 3 研修 サードレベル公開講座 3 研修

3) 看護研究等学術振興に関する事業 (1) 令和4年度看護実践研究会の実施・評価 (再掲) (2) 日本看護協会主催の学会参加促進 4) 図書室運営に関する事業 (1) 図書・雑誌・文献の充実 (2) 図書室の効果的・効率的運営 (3) 文献学習等の支援	・看護実践研究会 令和4年11月23日 ・新規購入図書、雑誌の検討 ・新刊案内 ・Library News の発行 ・図書室の利用者増加に向けた取り組み ・会員アンケート調査 ・利用状況調査
---	---

2. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事項

〈重点2〉 定款第4条第1項第2号

(1,600円)

現場で働く保健師、助産師、看護師及び准看護師が、自らその課題を把握し改善するため、それぞれの専門にかかわる業務の実態調査・研究等を行い、各職能における業務改善や看護制度改善に向けた提言をすることにより、看護の質向上を図る。

事業内容	具体的計画等
1) 保健師業務に関する事業 (1) 保健師の資質向上、専門性の追求 (2) 看護職、多職種とのネットワークの強化 2) 助産師業務に関する事業 (1) 子育て世代包括ケアシステムの推進 (2) 助産師間、他職種との連携強化 3) 看護師業務に関する事業 【看護師業務Ⅰ】 (1) 看護管理者のネットワーク構築 (2) 地域包括ケアの現状整理・可視化	・定例会 年11回 ・交流会 若手保健師交流研修会 令和4年12月 ・母子のための地域包括ケアシステム推進について、 保健師・助産師合同会議への参画 ・調査等 日本看護協会が実施する実態調査 コロナ禍の保健師活動実態把握 ・定例会 年11回 ・研修会 近畿地区助産師職能合同研修会 助産師資質向上研修 ・調査等 子育て世代包括ケアシステム推進に向けた 産後ケア事業に関する学会発表 ・母子のための地域包括ケアシステム推進について 保健師・助産師合同会議への参画 ・定例会 年11回 ・交流会 看護師職能ⅠⅡ・支部合同交流会 「看護管理者として訪問看護研修をどう活かすか」 ・調査等 看護管理者実施研修の成果整理

【看護師業務Ⅱ】

- (1) コロナ禍における高齢者施設等における感染対策の課題把握とその対策の検討
- (2) 地域で働く看護職の連携と協働の推進を図る

※三職能合同

- (1) 保健師助産師看護師職能集会
三職能合同集会

- (2) 保健師助産師看護師・支部合同交流会

※支部活動

4) 看護制度に関する事業

- (1) 兵庫県看護学校協議会への出席と情報交換
- (2) 看護業務、看護制度に関する意見・提言収集、調査の実施
 - ①令和3年度看護職員需要・離職調査の実施と分析
 - ②各支部から意見・提言の集約
 - ③各委員会活動から意見・提言の集約
 - ④看護師職能ⅠⅡ・支部合同交流会、保健師助産師看護師支部交流会、准看護師交流会からの課題収集、政策提言
- (3) 看護業務、看護制度に関する国・兵庫県・神戸市・日本看護協会等への政策提言
- (4) 准看護師養成・准看護師制度に関する取組

5) 医療安全の推進に関する事業

- (1) 医療事故調査制度における支援団体としての事業
 - ①相談への対応
 - ②院内調査に必要な専門家の派遣と調査員の人材育成
 - ③兵庫県医療事故調査支援委員会との連携
- (2) 医療安全研修の実施（支部研修は除く）
- (3) 神戸市医療安全推進協議会への出席

- ・医療機関における COVID-19対策における課題とその解決策を検討

- ・定例会 年11回
- ・交流会 看護師職能ⅠⅡ・支部合同交流会
地域で働く看護職の交流会
- ・調査等 地域で働く看護師の感染症対策の現状把握
今後の対策検討
看護Ⅱ領域看護師の入会促進
- ・日本看護協会が実施する実態調査

- ・令和4年6月16日
「長引くコロナ禍の今、大切にしたい看護職の心のケア～働く人を守るために～」
兵庫県こころのケアセンター
センター長 加藤寛 氏
- ・令和4年10月15日

※各支部の計画参照

- ・令和4年6月施設に郵送
回答はオンライン方式
- ・令和4年12月10日 合同委員会 開催
- ・令和4年12月10日 合同委員会 開催
- ・令和4年12月理事会報告
- ・令和4年8月 国・兵庫県・神戸市要望書提出
- ・令和4年10月兵庫県 知事要望書説明・予算要望
神戸市議会議員 要望書説明・予算要望
- ・准看護師研修会
准看護師の現状把握、進学に関する情報提供

- ・医療事故調査支援委員会への出席
- ・医療安全管理者養成研修（再掲）
- ・医療対話推進者養成研修（再掲）
- ・医療安全における看護記録（再掲）

3. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

〈重点1〉〈重点4〉 **定款第4条第1項第3号**

(56,819千円)

患者や利用者が安心して療養生活を送ることができるよう、全ての看護職が安心して働き続けられる労働環境を整備し、確保・定着促進を図ることで看護師不足を解消し、地域の医療資源の充実を図ることにより、人々の健康及び福祉の増進を図る。

事業内容	具体的計画等								
1) 働きやすい職場環境づくりに関する事業 〈重点4〉 (1) ヘルシーワークプレイスの推進 ①ヘルシーワークプレイス推進のための企画・運営 ②関連機関との連携の強化 2) 看護職の確保定着の促進に関する事業 〈重点1〉 (1) 看護職の確保の促進に関する事業 ①求職者および求人側への無料就業斡旋(マッチング業務) ②地域における看護師確保の推進 ③相談機能の充実に関する事業 ④ナースセンター(支所及びサテライト含む)広報 ⑤ホームページを用いた広報の継続 ⑥ハローワークとの連携強化	・勤務環境改善取組み3施設への支援 ・ヘルシーワークプレイスを推進する上での課題の明確化および支援策の検討 ・研修会の実施 対象：看護管理者等 日程：令和5年1～3月頃 ・兵庫県医療勤務環境改善支援センター、行政、ひょうご仕事と生活センター職員との勤務環境改善に関する意見交換、情報共有 ・WLB推進取組み施設訪問(医療労務管理アドバイザー同行) ・NCCSによる求人・求職情報の登録・管理・支援 ・プラチナナースの登録推進及び登録者の活用 施設訪問 求人、求職者対象のプラチナナース研修の実施(4回/年) ・施設訪問 新看護職確保推進事業参画準備 ・本所・支所・サテライトの相談体制の充実 <table border="0"> <tr> <td>看護なんでも相談</td> <td>週5日</td> </tr> <tr> <td>メンタルヘルス相談</td> <td>週1日</td> </tr> <tr> <td>認知症・高齢者専門相談</td> <td>週2日</td> </tr> <tr> <td>看護管理者支援のための相談</td> <td>週5日</td> </tr> </table> ・「県民だよりひょうご」等行政広報紙による広報強化 駅構内看板広告(2か所) ・ホームページの適宜更新 ・SNSの周知とフォロワー獲得 ・看護相談員による出張相談及びナースセンター連携 ハローワーク神戸：第1・3木曜日 ハローワーク姫路：第3月曜日(1回/2月) ハローワーク西宮：第2木曜日 ハローワーク加古川：第4月曜日 ハローワーク伊丹：第4水曜日 ハローワーク尼崎：第3金曜日(1回/2月)	看護なんでも相談	週5日	メンタルヘルス相談	週1日	認知症・高齢者専門相談	週2日	看護管理者支援のための相談	週5日
看護なんでも相談	週5日								
メンタルヘルス相談	週1日								
認知症・高齢者専門相談	週2日								
看護管理者支援のための相談	週5日								

⑦行政や他団体と連携した確保定着対策の強化 (2) 届出制度の周知及び届出者への支援 (3) 訪問看護 e ラーニング活用による訪問看護師の確保・定着 3) 看護師等の需要・就業動向の実態把握に関する事業〈重点1〉 (1) 令和3年度看護職員需要・離職調査の実施 4) 看護職の就業の促進に関する事業〈重点1〉 (1) 看護職復職支援研修の実施 (2) 施設で実施する復職支援研修の支援 (3) <u>新</u>新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保 (4) 本所合同就職説明会 就職に関する相談、訪問看護師になる為の相談コーナー等の設置 (5) 支部合同就職説明会開催の支援 (6) 看護基礎技術研修およびBLS研修の開催 (7) 看護基礎技術（採血）、静脈注射研修 ・姫路支所、サテライト北播	ハローワーク明石：第1火曜日 <u>新</u>ハローワーク灘：第4木曜日 ・行政及び労働局、他団体との検討会、委員会への参加 ・制度の普及・啓発（車内広告の掲載） ・研修やイベント・就業の案内（毎月メール配信） ・訪問看護 e ラーニング養成講習及び訪問看護ステーション実習の実施、調整 開講式：令和4年5月21日 ・<u>新</u>調査のオンラインシステムの導入 ・<u>新</u>看護職員確保定着・離職防止委員会（ワーキング）での調査分析 ・<u>新</u>関連委員会との調査結果に関する意見交換 ・講義：2回 ・施設等見学ツアー：1日 ・協会ホームページ掲載による広報 ・研修企画支援 ・<u>新</u>潜在看護職研修事業 コロナ対応カススキルアップ研修 週3日 計4回開催 ・<u>新</u>看護職員離職防止相談事業 新型コロナ感染症に関する業務に就業する看護職からの離職に関する相談対応 毎週木曜日（12:00～16:00）臨床心理士 対応 月～水、金曜日（12:00～16:00） 相談員（看護職）対応 ・<u>新</u>求人施設機能別就職説明会 令和4年6月18日：介護老人保健・福祉施設 令和4年6月19日：中小病院 令和4年7月14日：診療所・クリニック 令和4年7月23日：訪問看護ステーション ・地域における合同就職説明会開催：3支部 阪神南圏域合同就職説明会 北播磨圏域合同就職説明会 西播合同就職説明会 ・BLS研修 1日/2月（第1・第2水曜日） ・看護基礎技術研修 1日/2月（第1・第2水曜日） ・支所・サテライト 2回/月
--	---

3の関連事業 (1) 看護職員離職防止対策研修の実施 看護職員離職防止のための看護管理者研修 (2) 関連団体主催の就職説明会への参加 (3) 関連会議への出席	
---	--

4. 地域ケアサービスの実施及び促進に関する事業〈重点3〉

定款第4条第1項第4号

(374,276千円)

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことが出来るよう訪問看護や居宅介護支援事業等を実施するとともに、まちの保健室事業等様々な場で健康相談に応じることにより、県民自ら取り組む健康づくりを支援する。

事業内容	具体的計画等
1) 地域看護活動の開発と推進に関する事業〈重点3〉 (1) まちの保健室事業の推進 ①拠点、出前相談、講座等の活動の強化 ②県民のライフサポーターとしての「まちの保健室」拠点の拡充 ③理学療法士会・栄養士会・歯科衛生士会・薬剤師会等関係団体・他職種との協働の強化 ④看護ボランティアの確保と質向上 (2) 神戸市委託事業 ①サポーター研修（公開講座）開催 ②シニア健康相談ダイヤル事業 ③地域拠点型一般介護予防事業における介護予防講座支援事業 (3) 認知症・高齢者に関する電話相談の継続 (4) 地域包括ケアシステムの推進 (5) チーム医療推進に関する事業〈重点3〉 ①多職種参加型支部共同研修の実施 ②先駆的な地域連携推進事例報告 ③看看連携研修の実施	・全拠点の認知症相談対応能力の向上および思春期・青年期等若年層の健康増進活動の強化 <u>新</u> ホームページでの健康増進情報の発信 ・まちの保健室拠点活動再開のに向けたコーディネーターによる拠点との連絡調整の実施 <u>新</u> 地域の特性を活かした活動と新規拠点の開拓（図書館、郵便局等） ・行政・他団体との連携強化と地域包括ケアシステムへの参画 ・ <u>新</u> 看護ボランティア育成のための活動イメージ動画の作成及び各支部でのマニュアル見直し 訪問看護ステーション看護職、潜在看護職・プラチナナース・個人会員等への広報 研修開催 年1回 定員80名 令和5年1月28日 9支部のポスター展示と発表 サポーター研修 年1回 サポーター登録： 名 神戸市役所内での相談 月～金曜日 10：00～15：00 介護予防講座 週2回 延件数 160件 地域の現状に応じて支部での企画実施 ・「看護ひょうご」に連載 ・病院、訪問看護ステーション、介護施設等の看看連・

④特定行為に係る看護師の研修制度の推進

(6) 看護提供体制の推進〈重点3〉

①保健師助産師看護師支部交流会の実施

②地域別看護職員ネットワークづくり事業

③地域包括ケアにおける看護提供体制の構築
～ JNA の取り組み～

2) 訪問看護ステーションに関する事業
〈重点3〉

(1) 協会立訪問看護ステーションの運営

①尼崎訪問看護ステーション

- ・訪問看護・居宅支援・訪問介護一体運営によるサービスの充実
- ・機能強化型訪問看護ステーションとしての役割の推進
- ・教育ステーションとしての活動
- ・実習及び体験実習の受け入れ強化

・尼崎市認知症集中支援チームとして活動

②神戸訪問看護ステーション

- ・訪問看護・居宅支援・訪問介護一体運営によるサービスの充実
- ・実習及び体験実習の受け入れ強化

③出石訪問看護ステーション

- ・訪問看護サービスの充実
- ・実習及び体験実習の受け入れ強化

3) 在宅ケアサービスの推進に関する事業
〈重点3〉

(1) 訪問看護総合支援センター

①普及啓発

②訪問看護事業所の実態調査

③訪問看護師確保・定着促進

新卒看護職者支援

訪問看護普及・啓発

④研修事業

訪問看護管理者研修、実務者研修、訪問看護導入研修、機能強化型訪問看護ステー

携研修の継続

- ・特定行為に係る研修修了者の実践報告 年1回 定員80名
- ・施設代表者等研修会 年2回 延定員数 400名

- ・地域小規模ステーション看護師・管理者の育成
- ・他事業所や関係機関が主催する研修等への講師派遣
- ・まちの保健室活動
- ・実習受け入れ
- ・看看連携研修生、看護学生・医大生 体験実習
- ・認定看護管理者セカンド研修生 医療機関からの実習
- ・認知症集中支援事業の役割遂行

- ・他事業所や関係機関が主催する研修等への講師派遣 実習受け入れ
- ・看看連携研修生、看護学生・医大生、認知症看護認定看護師教育課程

- ・他事業所や関係機関が主催する研修等への講師派遣
- ・実習受け入れ
看看連携研修生、看護学生・医大生

- ・継続した広報活動
- ・調査実施時期：令和4年5月
データ分析：令和4年7月～9月
- ・他施設間における看護職交流会 年2回
- ・就職説明会でのブース開設、大学における就職説明会の参加、訪問看護に関するホームページ更新
- ・管理者研修
- ・日本看護協会『訪問看護及び介護施設等の看護管理者研修プログラム』DVD活用 全7回

ション普及セミナー ⑤相談（開設・経営・労務管理等） ⑥ネットワークを活用 / 構築による支援センター事業の充実 （２）訪問看護 e-ラーニング受講者への支援 （３）兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会との連携 ①兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会事務局を担当 （４）介護職員等の医療的ケア指導者研修の実施（重点２） （５）訪問看護師・訪問介護員の安全確保・離職防止対策	・導入研修 令和４年６月４日、１１月１２日 ・看看連携研修の年間受け入れ施設の拡大 <table border="0"> <tr> <td>病院</td><td>延35施設</td></tr> <tr> <td>訪問看護ステーション</td><td>延70施設</td></tr> <tr> <td>施設</td><td>延 5施設</td></tr> <tr> <td>看護小規模多機能型居宅介護</td><td>延 5施設</td></tr> </table> ・小児訪問看護研修 令和４年８月２７日 ・メール相談件数：200件 訪問看護事業所からの相談、および社会保険労務士や連絡協議会会員を活用した相談対応 病院からの退院支援における相談 ・訪問看護推進会議 年２回 ・会議での助言を事業に活用 ・連絡協議会との連携合同会議開催（６回／年） ・連絡協議会の理事会への参加 ・看護小規模多機能型居宅介護（看多機）の普及推進委員会の実施（啓発チラシの配布） ・訪問看護の実際についての情報提供 ・総会、会議等の開催準備 ・介護職員等によるたんの吸引等研修事業指導者講習会（再掲） ・介護職員によるたん吸引等研修事業指導者講習会 ・フォローアップ研修（再掲） ・訪問看護、訪問介護暴力対応相談事業 - 新弁護士による相談の活用 会議：年３回 研修：年２回 延定員数300名	病院	延35施設	訪問看護ステーション	延70施設	施設	延 5施設	看護小規模多機能型居宅介護	延 5施設
病院	延35施設								
訪問看護ステーション	延70施設								
施設	延 5施設								
看護小規模多機能型居宅介護	延 5施設								

5. 災害・健康危機支援に関する事業〈重点５〉 定款第４条第１項第５号 （9,147千円）

災害や健康危機発生時の看護活動支援に備え、平時から県・市町や日本看護協会、関係団体とのネットワークや連携を図り、体制の整備と受援・支援活動を行うことにより、県民の命と健康を守る。

事業内容	具体的計画等
1) 災害時看護に関する事業〈重点５〉 （１）災害・健康危機管理体制基盤の構築 ①健康危機対策委員会の開催	・年６回 地域における連携支援体制の構築、有事に備え体制強化 健康危機関連規定集の見直し 災害支援ナース登録推進・育成研修 地域防災訓練への参加。住民への減災教育、防災力強化

②兵庫県看護協会健康危機体制の整備 ・災害に係る物品の備蓄と整備 ・協会内災害防災訓練の実施 ③支部での体制整備の推進 ・支部における健康危機対策の強化 ・支部における連携構築の推進 ④施設での体制整備の推進 ・事業継続計画（BCP）マニュアルの検討支援 ⑤施設での体制整備の推進 ・事業継続計画（BCP）マニュアルの検討支援 ⑥新型インフルエンザ等感染症対策（体制整備、人材育成等） （２）災害看護研修、災害支援ナース育成研修等 （３）災害支援ナース活動支援 （４）地域における防災訓練・連携会議への参加 （５）まちの保健室等での地域住民への防災・減災教育の推進 （６）保健師バンク機能強化	新型コロナウイルス等感染症研修会 令和４年10月25日 ・協会内災害訓練の実施 ・BCP/ アクシンプランの周知確認 ・支部における災害・健康危機ネットワーク強化 ・新型インフルエンザ等感染症対応研修 １回 ・災害医療と看護（基礎編） ・災害支援ナース登録者ブラッシュアップ研修 ・災害支援ナースの指導的役割が果たせる人材の育成と訓練等を通じた実践能力の向上 ・災害看護研修 １回 ・災害支援ナース養成研修（基礎編）２回 令和４年７月26日・27日、28日・29日 令和４年９月27日・28日、29日・30日 ・災害支援ナース養成研修（実践編）２回 令和４年８月19日、10月14日 ・災害支援ナースフォローアップ研修 １回 ・災害支援ナース企画指導者研修への派遣 ２名 ・JMAT 実践研修への派遣 10名 ・地域における減災教育教材の活用 ・防災訓練への派遣 ・関係各団体等へ災害支援ナースの広報による災害支援ナースの活動拡大 ・災害支援ナース交流会の開催 ・災害支援ナース登録システムの活用 災害支援ナース交流会 ２回 令和４年９月、12月15日 ・防災・減災教育グッズの作成（パネル、チラシ等） ・保健師バンクおよび IHEAT 登録者の増加・管理 ・保健師バンク研修・交流会（１回/年） ・兵庫県健康増進課との連携
--	--

2) 健康危機発生時への対応整備に関する事業〈重点5〉 (1) 日本看護協会との連携 (2) 近畿地区看護協会災害支援活動の推進 (3) 兵庫県防災協定による活動 (4) 市町等の防災訓練、防災会議への参加 (5) ひょうご安全の日推進県民会議との連携 (6) 新型インフルエンザ等に係る会議への出席 (7) 日本災害看護学会等学会との連携 (8) 兵庫県医師会との連携	・災害看護担当者会議への出席 ・災害支援ナース派遣調整合同訓練 ・会員施設の参加（連絡体制の確認等） ・近畿地区看護協会災害看護担当者会（担当） ・年1回開催（兵庫県が担当県） ・兵庫県防災会議への出席および役割遂行 ・合同防災訓練に係る会議への出席 ・合同防災訓練への参加 ・支部代表の参加 ・地域での連携体制推進 ・ひょうご安全の日推進県民会議への出席 ・ひょうご安全の日1.17のつどいへの参画 ・災害支援ナースの救護所等開設訓練への参加 ・開催地の支部からの訓練への参加 ・災害支援ナースの参加 ・DMAT チームのトリアージ訓練に参加 ・県民への防災減災の周知 ・兵庫県新型インフルエンザ等対策有識者会議への出席 ・神戸市新型インフルエンザ等対策行動計画有識者会議への出席 ・神戸市新型インフルエンザ対策協議会への出席 ・組織会員としての活動継続：第24回年次大会 令和4年9月3日・4日 ・JMAT の要請により災害支援ナースを派遣 ・JMAT 実務者研修への派遣
---	--

6. 看護の国際交流に関する事業 定款第4条第1項第6号

(160千円)

海外の同職能団体等との交流や国際協力機構（JICA）、世界保健機関（WHO）神戸センターとの連携を図り、看護の国際交流を推進する。

事業内容	具体的計画等
1) 外国人看護師候補者受け入れに関する事業 (1) WHO 神戸センター協力員会委員および幹事として役割遂行 2) 他国看護学会等との連携に関する事業 (1) JICA 海外研修生の研修協力	・WHO 神戸センター協力委員会への出席 ・バングラデシュ看護サービス人材プロジェクトへの協力

7. 看護の普及啓発に関する事業＜重点6＞ 定款第4条第1項第7号 (11,367千円)

「看護の日」記念事業や介護の日の関連事業（看護フェア）を通して、将来看護現場を支える若い世代を含め、広く県民に「看護のこころ」、「ケアのこころ」等看護に対する理解と関心を深め、県民の公衆衛生の向上を図る。

事業内容	具体的計画等
1) 看護教育制度の広報に関する事業 (1) 進学説明会の実施 (2) 進学希望者へのパンフレットの送付 (3) 就職フェアにおける進学希望者への相談対応 (4) 高等学校進路指導担当者説明会の実施 2) 看護のこころ普及に関する事業 (1) 看護の日週間事業イベントの開催 (2) ふれあい看護体験事業の実施 (3) 看護フェアの開催 (4) 看護の出前授業の強化 (5) ナースの訪問授業 関連事業 (1) 兵庫県看護大会 (2) 神戸市看護のともしび賞表彰式	・令和4年7月30日 対象：中学・高校生、社会人 ・「看護師をめざすあなたへ」の作成、配布 ・令和4年6月24日 対象：中・高等学校進路指導担当者及び小学校の先生で興味のある方 ・令和4年5月14日 ・年1回開催 参加施設 ・令和4年11月12日 小学校・中学校、高等学校への出前授業 年20校 看護専門学校、看護系大学への出張講義 年10校 県内中学・高等学校への訪問授業 年20校 令和4年7月7日 兵庫県公館 令和4年11月19日（予定）

8. 施設の貸与に関する事業 定款第4条第1項第8号 (0千円)

本会の事業に支障のない範囲で、広く公益的事業を実施する団体等に施設を貸与することにより、地域社会への貢献を図る。

事業内容	具体的計画等
(1) 会館管理協議会 (2) 教育設備・備品の整備 (3) 設備等定期検査 (4) 建物施設の管理運営（警備・清掃・防災） (5) 維持・修繕	

9. その他本会の目的を達成するために必要な事業＜重点6＞ 定款第4条第1項第9号 (331,906千円)

定時総会、理事会、支部活動や関係団体との連携等を通じて協会の円滑な運営を図り、会員にとってさらに魅力のある看護協会を目指し、事業活動の充実と組織の強化を図る。

事業内容	具体的計画等
1) 円滑な組織運営〈重点6〉 (1) 組織運営のための諸会議の開催 ①定時総会 ②理事会 ③業務執行理事会 ④職能委員会(保健師・助産師・看護師Ⅰ・Ⅱ) ⑤委員会 ⑥理事・委員会合同会議 ⑦施設代表者会 ⑧支部会員会 (2) 定時総会 ①代議員 ②支部会員会において代議員・予備代議員選出のための支援 (3) 支部との連携、支部間の連携強化 ①支部担当事務の配置と連携 ・支部会員会等関連会議への出席 ・支部運営マニュアルの適宜見直し ・電話等による支部活動支援 ②支部運営会議、支部会員会、支部委員会への支援 ③助成金の交付 (4) 日本看護協会諸会議への出席 ①通常総会 ②理事会 ③地区別法人会員会 ④都道府県職能委員長会議 ⑤全国職能別集会 ⑥都道府県支部役員等研修会 ⑦その他会議 (5) 関係団体との連携・協働 ①看護協会 - 日本看護協会、近畿2府4県看護協会、他都道府県看護協会 ②兵庫県看護学校協議会 ③兵庫県助産師会、日本精神科看護協会 兵庫県支部 ④日本看護連盟、兵庫県看護連盟	・令和4年6月16日 兵庫県看護協会会館 ・年9回開催予定 ・年6回開催予定 ・4職能委員会 令和4年6月16日 職能集会 ・13委員会 ・令和4年7月2日 令和4年12月10日 ・令和4年8月4日 令和5年3月2日 ・年2回開催予定 ・令和4年5月28日 ・令和4年6月8日 千葉県幕張メッセ ・年5回 ・令和4年10月17日・18日 京都府 ・政策責任者会議、事務担当者会議、会員情報管理担当者会議、教育担当者会議、医療安全推進会議、准看護師制度担当役員会議、日本看護学会運営会議、広報担当者会議、災害担当者会議、訪問看護担当役員会議、ナースセンター事業担当者会議 他 ・近畿府県看護協会人材育成担当者会議 ・近畿府県看護協会災害担当者会議 ・近畿府県看護協会人材確保・定着担当者会議 ・近畿地区看護協会事務局長会議 ・近畿府県看護協会立訪問看護ステーション会議 ・兵庫県看護連盟との役員合同会議

⑤医療・福祉・介護関連団体

- ・兵庫県医師会、兵庫県歯科医師会、兵庫県薬剤師会
- ・兵庫県医療職団体協議会(放射線技師会、臨床検査技師会、栄養士会、臨床工学技士会、理学療法士会、歯科衛生士会、作業療法士会、言語聴覚士会、薬剤師会、介護支援専門員協会) 合同研修
- ・兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会
- ・介護・福祉関係団体

⑥行政

- ・兵庫県、神戸市、西宮市、姫路市、尼崎市、明石市、各市町、兵庫労働局、ハローワーク等
- ・関西広域連合 ほか

2) 組織力の強化〈重点6〉

(1) 会員の確保・拡大

- ①施設訪問 未加入者への働きかけ
- ②看護系大学・看護専門学校への出前授業等による働きかけ
- ③看護系大学・看護専門学校の入学式・卒業式等への出席および祝電・メッセージ
- ④兵庫県看護協会の見学実習等の積極的受け入れ

(2) 新入会員研修の実施

(3) セカンドキャリア支援

(4) 保健師バンク

・幹事団体：看護協会

令和5年2月予定 医療職団体合同研修会

- ・神戸市看護大学 看護管理学実習
- ・神戸市看護大学大学院実習
- ・新入会員研修(オンライン)
- ・協会活動の紹介
- ・セカンドキャリアの活用促進
- ・登録推進と協会事業への参画
- ・総会、研修会、イベント等への参加への働きかけ
- ・交流会、研修会

3) 広報活動〈重点6〉

(1) 広報活動の充実に関する事業

広報委員会による広報活動の推進

(2) 広報誌等による広報

- ・「看護ひょうご」の発刊
(年4回発刊：新春・春・夏・秋)
- ・広報誌「看護ひょうご」のホームページ掲載
- ・協会ガイド
- ・県民向け広報誌「ささえ」の発行
- ・「看護師をめざすあなたへ」冊子配布拡大

(3) ホームページの効果的運営

- ①理事会議事録(要約)の掲載
- ②看護関連情報および協会の事業活動の更新
- ③ホームページ上の各支部ページの充実
- ④ホームページの活用に関する評価

(4) マスコミを通じた広報活動 ①取材依頼への積極的対応 ②協会事業のマスコミへのPR活動 (5) 社会貢献活動の広報 ①関連イベントへの協力 (6) 「看護の日・看護週間」事業による看護の心の普及促進 (7) 会員募集（新入会・継続入会）に関する広報 4) 会員の表彰・福利厚生等 (1) 叙勲・表彰等候補者の推薦 (2) 兵庫県看護協会会長表彰等の実施 (3) 慶弔見舞、災害見舞 (4) 看護職賠償責任保険制度加入の推進 (5) 協会・支部出務に係る保険運用	・看護の日・看護週間イベントの広報活動 ・看護の出前事業の広報活動 ・ナースシップに関する広報の強化 ・「看護ひょうご」に入会のご案内を掲載 ・叙勲・褒章 ・日本看護協会会長表彰 ・兵庫県看護功績賞 ・神戸市看護のとしび賞 ・名誉会員 ・兵庫県看護協会会長表彰 ・兵庫県看護協会会長感謝状 ・まちの保健室ボランティア表彰 等
---	--

令和4年度 各委員会活動計画

令和4年度 委員会	
職能委員会	保健師職能委員会
	助産師職能委員会
	看護師職能Ⅰ委員会
	看護師職能Ⅱ委員会
職能集会資料 参照	
委員会	選挙管理委員会
	推薦委員会
	教育企画委員会
	看護管理者活動推進委員会
	看護実践研究委員会
	倫理審査委員会
	医療安全委員会
	看護職確保定着・離職防止推進委員会
	ヘルシーワークプレイス推進委員会
	災害・健康危機対策委員会
	まちの保健室委員会
	地域ケア・地域看護推進委員会
	広報委員会

令和4年度 選挙管理委員会 活動計画

■活動目標	1. 本会改選役員、推薦委員及び選挙管理委員の選挙を公正に行う。 2. 本会代議員及び予備代議員並びに日本看護協会代議員及び予備代議員の選挙を公正に行う。
■開催予定	6回
■活動事業	1. 定款、定款細則、選挙管理委員会規則等（以下「定款等」という。）の規定により、令和5年度改選役員、推薦委員及び選挙管理委員の選挙を公正に行う。 2. 定款等の規定により、令和5年度本会代議員及び予備代議員、令和6年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選挙を公正に行う。

令和4年度 推薦委員会 活動計画

■活動目標	1. 本会の会員代表として相応しい役員、推薦委員、選挙管理委員の候補者の推薦を公平に行う。 2. 本会代議員及び予備代議員、日本看護協会代議員及び予備代議員の候補者の推薦を公平に行う。
■開催予定	6回
■活動事業	1. 定款、定款細則、役員等の推薦及び推薦委員会規則等（以下「定款等」という。）の規定により、令和5年度改選役員、推薦委員、選挙管理委員候補者を推薦する。 2. 定款等の規定により、令和5年度本会代議員及び予備代議員候補者並びに令和6年度日本看護協会代議員及び予備代議員候補者を推薦する。

令和4年度 教育企画委員会 活動計画

■活動目標	1. 資質向上につながる教育計画立案のために、現場および会員の視点で協議を行う。 2. 協会からの諮問事項に基づいて、必要な教育研修の企画について協議する。
■開催予定	5回
■活動事業	1. 教育認定部からの報告により、教育研修の実施状況を把握し、今後の課題を抽出する。 2. コロナ禍～アフターコロナに必要な教育研修について企画する。 「コロナ禍における新人看護師育成についての検討会」（令和3年11月29日）の内容から、Z世代の新人看護師に対する理解と支援方法に関する研修を企画する。 3. 「基礎教育と卒後教育の現場担当者による交流会」を開催し、教育・臨床・行政との間で看護師の育成とキャリアについて相互に理解し、支援について話し合える環境を構築する。

令和4年度 看護管理者活動推進委員会 活動計画

■活動目標	1. 看護管理者の組織的課題解決のための支援、管理実践能力向上に関する現状把握 2. 看護管理者の活動推進のための交流会を企画する。 3. 1. 2. の取り組みの結果を踏まえて、次年度に向けて具体的活動内容を検討する。
■開催予定	6回
■活動事業	1. 看護管理者の組織的課題解決のための支援、管理実践能力向上に関する現状把握のための方策を検討し、企画・実施・分析を行う。 2. 看護管理者交流会を企画・運営をする。 1) 看護管理実践応力向上のために、何が必要か、ディスカッションする。 2) 顔の見える関係作りを推進する。 3. 認定看護管理者教育課程と連携する。 4. 1. 2. の結果を踏まえて、次年度の委員会活動の具体的内容を検討し、企画する。

令和 4 年度 看護実践研究委員会 活動計画

■活動目標	1. 県内の参加者・発表者のニーズをアセスメントして企画し、参加者数・発表者数の維持・増加を目指す。 2. コロナ禍での看護実践研究会のあり方を企画、検討する。 3. 看護職者の研究力をサポートする。(査読、発表資料等) 4. 査読の進め方を見直す。
■開催予定	6 回
■活動事業	令和 4 年度看護実践研究会の開催とそれに向けた企画委員会の開催 1. 看護実践研究会の概要 開催時期：令和 4 年11月23日 対象者：県内の看護職者 参加人数：150名（新型コロナウイルスの状況により変更する） 開催テーマ：「身近な疑問を解決しよう！」 教育講演：テーマ 検討中 講師 富田真佐子 氏 昭和大学 保健医療学部 看護学科 在宅看護学領域教授 2. 看護実践研究会を企画する（定例会議で下記の事項を検討・決定する）。 ・演題および一般参加の募集要項について ・演題および一般参加の再募集について ・当日のプログラム、運営スケジュール、係員必携 ・新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、看護実践研究会の運営方法を検討する。(感染者数の動向を踏まえ、開催基準等の検討) ・集録の内容、構成について ・令和 5 年度 特別企画教育講演の検討（テーマ、講師、内容） 3. 査読を通して研究および実践報告活動を支援する。 ・応募演題の査読および採否決定 査読基準に従って、発表成果につながるサポートを行う。 発表スライドの添削よりサポート体制の拡大については検討していく。 委員の査読内容に異議があった場合の対応等について検討する。 ・看護実践研究委員会としてどのような研究サポートができるか検討する。 臨床の看護管理者・指導・教育担当者が、研究を進めるにあたってどのように考えているのか、困っていることはどのようなことか、どのような支援を必要としているのかについての看護協会の調査結果（施設代表者会で実施）を踏まえて、令和 5 年度の委員会活動を検討する。 4. 看護実践研究会を開催する。 ・研究会参加者を対象に看護実践研究会についてアンケート調査を行う。 ・令和 5 年度特別企画教育講演の検討（テーマ、講師、内容）を行う。 ・新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、看護実践研究会の運営方法について評価する（感染者数の動向を踏まえ、開催基準等の検討）。 ・集録の内容、構成について検討する。

令和4年度 倫理審査委員会 活動計画

■活動目標	本会会員が所属する機関に倫理審査委員会等がないために、申請がある場合及び本会の事業目的を達成するために各委員会より申請のあった調査研究の倫理審査を行う。								
■開催予定	3回								
■活動事業	申請のあった調査・研究計画書について、兵庫県看護協会倫理審査基準に基づき、審査を行う。具体については、日本看護協会編「看護研究における研究倫理チェックリスト」に従って行う。 令和4年度 倫理審査申請の提出日 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>調査・研究計画書の提出日</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>令和4年8月19日 17:00必着</td></tr> <tr> <td>2</td><td>令和4年11月11日 17:00必着</td></tr> <tr> <td>3</td><td>令和5年2月10日 17:00必着</td></tr> </tbody> </table> *委員会開催日は、決定後ホームページに掲載する。	回数	調査・研究計画書の提出日	1	令和4年8月19日 17:00必着	2	令和4年11月11日 17:00必着	3	令和5年2月10日 17:00必着
回数	調査・研究計画書の提出日								
1	令和4年8月19日 17:00必着								
2	令和4年11月11日 17:00必着								
3	令和5年2月10日 17:00必着								

令和4年度 医療安全委員会 活動計画

■活動目標	1. 兵庫県内の医療・看護の質の向上と安全を推進し、医療安全に携わる人への支援を行う。 2. 各支部間での連携を図り、医療安全管理活動に取り組む。
■開催予定	6回
■活動事業	1. 医療・看護の質の向上と安全を推進し、医療安全に携わる人への支援を行う。 1) 病院、クリニック、介護施設、訪問看護ステーションなどへの医療安全推進の支援 (1) 医療安全関連研修（出前講座）を実施する。KYT研修を中心として、次第に活動内容の幅を広げる。 (2) 出前講座実施後の評価を行い、次の活動に繋げる。 (3) 実施後の評価を含め、ホームページに掲載する。 (4) 医療安全トピックスのホームページへの掲載。 2. 各支部間の連携を図り医療安全管理活動に取り組む。 1) 研修会や出前講座の評価の見える化のために、本部と全支部で共有したアンケートを使用、医療安全の研修参加された状況を把握する。 2) 各支部研修会後に委員会で情報を共有し、委員会活動に活かす。 3) 医療安全研修会参加の状況および結果をホームページに掲載し情報共有を図る。 4) ホームページ内の「医療安全委員会だより」の充実を図る。

令和4年度 看護職確保定着・離職防止推進委員会 活動計画

■活動目標	1. 看護職の確保および就業継続支援のための取り組みについて、ナースセンター事業を踏まえ検討する。 2. ハローワークや他機関との連携を強化・推進する。 3. 看護職員需要・離職に関する調査結果をもとに課題を整理し、必要な改善策を検討する。
■開催予定	6回
■活動事業	1. ナースセンター事業の活動報告をうけ、看護職確保等に必要な取り組みについて検討する。 1) e ナースセンターの周知活動や登録促進のための検討を行う。 2) 広報活動などナースセンターでの取り組みを支援する。 2. ハローワークや地域の関係団体・関係機関との連携を強化する。 1) ハローワークと連携し、再就業への支援を強化する。 2) 地域他機関と連携し将来看護職を目指す志望者の増加を促進する。 3. 看護職員需要・離職に対する調査結果をもとに課題を整理し改善策を検討する。 1) アンケート回収率の改善（入力方法の検討など） 2) 看護職員需要・離職調査ワーキンググループでまとめた調査結果を、県医務課、労働局、ナースセンター等の担当者と共有し、看護職員の確保定着・離職防止の課題を整理し改善策を検討する。

令和4年度 ヘルシーワークプレイス推進委員会 活動計画

■活動目標	1. ヘルシーワークプレイスの推進と実現のための企画・運営を行う。 2. その他、委員会の目的達成に必要な事項を検討する。
■開催予定	6回
■活動事業	1. ヘルシーワークプレイスの推進と実現のための企画・運営を行う。 1) 施設のヘルシーワークプレイスの現状に関してアンケート等により情報収集を行い、問題点を明らかにして支援方法を検討する。 (1) 中小病院の現状を調査する。 (2) 訪問看護ステーションの現状を総合支援センターの実施するアンケートを基に情報収集する。 (3) 問題点を収集して支援方法を検討する。 2) WLB 取組み施設の中間報告及びヘルシーワークプレイスを推進する研修会を実施する。 テーマ：未定 時 期：令和5年2月頃 対象者：看護管理者及びテーマに興味のある看護職等 講 師：未定 3) 勤務環境改善に取り組む施設の支援を行う。 インデックス調査の費用を助成し施設訪問等の支援を継続することで、WLB 取組み施設の勤務環境改善の推進と実現を支援する。 対 象：平成29年度以降の WLB 取組み3施設 (栄宏会土井病院、神戸徳洲会病院、東宝塚さとう病院) 4) 関係機関と連携を図る。 兵庫県看護協会ナースセンター、本会各支部の他、本委員会の外部委員を通じて、兵庫県保健医療部医務課、兵庫労働局雇用環境・均等部指導課、兵庫県社会保険労務士会、ひょうご仕事と生活センター等、兵庫県内の関係機関と連携し、ヘルシーワークプレイスの推進に向けた活動を実施する。 5) ヘルシーワークプレイスの啓発活動を行う。 ホームページ等を利用し、法に基づいた勤務環境の改善及び勤務環境改善に取り組む施設の改善内容等を紹介し、多くの施設が改善事例を共有し、自施設の WLB 推進に取り組むことができるようにする。 2. その他、委員会の目的達成に必要な事項を検討する。

令和4年度 災害・健康危機対策委員会 活動計画

■活動目標	1. 地域における連携支援体制の構築及び、災害発生に備えた体制強化、知識・技術の普及啓発 2. 健康危機関連規定集の見直しと充実化を図る。 3. 災害支援ナースの登録推進・育成研修 4. 地域の防災訓練への参加。地域住民への減災教育、防災力強化の取り組み 5. 新興感染症への看護支援体制の強化
■開催予定	6回 ＊委員会の他、災害支援ナース養成研修や感染症対策研修会の企画・運営、防災訓練等への参加
■活動事業	1. 委員会において、各施設の災害・健康危機の対策の現状課題を把握するためのアンケート調査を実施し、実効性のある効果的な地域連携方策、研修企画等について協議する。 2. 健康危機規程集の見直しと充実化を図る。 受援マニュアル策定ガイドの周知と、追記および新型コロナウイルス感染症に関する対策等を含めた内容を検討する。 3. 災害支援ナース養成研修・災害支援ナース対象研修の企画・運営 実働可能な災害支援ナースの登録増加を図る。フォローアップ研修、交流会を通じて、活動へのモチベーションの維持を図る。 4. 受援・支援活動の強化推進を目的として、体制整備の推進、研修企画、啓発活動を実施するとともに災害拠点病院等との連携協働体制の強化を図る。 5. 看護協会ホームページ等への災害看護や防災についての情報提供 実際の災害支援活動や災害訓練について看護協会のホームページを効果的に活用し、積極的に周知する。 6. 地区の防災訓練、災害対策会議等への参加 地区で開催される防災訓練、災害対策会議等に参加し、地域の状況に応じた連携支援体制の構築に取り組む。 7. 新興感染症に関する研修会の開催 新型コロナウイルス感染症の研修会を開催する。

令和4年度 まちの保健室委員会 活動計画

■活動目標	1. 県民の視点に立ち、日常に基づいた「まちの保健室」活動を継続する。 2. 地域課題の多様化に伴い、支部ごとに特徴的な活動を創出し、受診勧奨・健康寿命の延伸を図る。 3. 社会状況に応じた、新たな健康相談等の方法を模索し、活動につなげる。
■開催予定	9回
■活動事業	1. 県民の視点に立ち、日常に基づいた「まちの保健室」活動を継続する。 1) 県民の「健康」と「安心」につながる活動を継続するため、地域住民が社会資源としてまちの保健室を活用できるよう働きかける。 2) ボランティアの資質とモチベーションを向上するため、研修会の開催および支部間のボランティア交流を図る。 3) 健康相談にとどまらず、疾病予防と健康づくりに取り組むための活動体制を推進する。 2. 地域課題の多様化に伴い、支部ごとに特徴的な活動を創出し、受診勧奨・健康寿命の延伸を図る。 1) 様々な不安や悩みを気軽に相談できる場を広く提供できるよう、各拠点活動を充実し、地域住民の健康増進につなげる。 2) 地域住民と協働し、住民自ら健康と予防につながる活動が行えるための支援を強化する。 3) 健康長寿の最大の阻害要因となる生活習慣病対策として、栄養・食育、乳がん自己検診推進等女性の健康に関すること、たばこ対策受動喫煙防止に関する指導を強化する。 4) 子育て世代の不安に関することや育児について気軽に相談ができる場の提供と、妊娠、出産、子育てが安心してできるよう支援する。 5) 平時から住民等の防災意識の高揚のため、「まちの保健室」活動を通して地域での体制づくり・危機意識と防災意識の向上を図る。 (1) 備えについてのチラシ活用 (2) 時期に応じた備えについての情報提供 6) 市町の事業や他団体等との連携・協働を強化し、「まちの保健室」活動の拡充を図る。 7) with コロナの時代に向けた健康相談等の活動を実施し、フェーズ2に向けた「まちの保健室」活動につなげる。 8) 年1回研修会の開催

令和4年度 地域ケア・地域看護推進委員会 活動計画

■活動目標	1. 地域、支部の実情に応じた地域包括ケアシステム推進における看看連携のネットワークを強化する。さらに、看看連携の推進を図る。
■開催予定	6回
■活動事業	1. 地域包括ケアシステムにおける看護職と、看看連携の課題の把握 1) ネットワーク一覧表の整理をする。 2) 各地域、支部で看看連携のネットワークの周知をする。(各支部での報告会) 3) 各支部の看看連携の課題を把握する。 4) 各支部地域での看看連携の活動を周知する。 (1) 実践報告等の開催 令和5年2月 対象：県内の管理職等 (2) 実践報告集作成 2. その他、委員会の目的達成に必要な事項を検討する。

令和4年度 広報委員会 活動計画

■活動目標	1. 広報委員会と協会事務局に設置する「広報会議」との連携協働により、効果的な広報活動を進めていく体制を構築する。 2. 会員・看護職向け、県民向け（看護を志す中高校生含む）に適時適切な情報を提供する。対象別に効果的な広報活動を実施する。 3. 看護ひょうごで、広報委員会の発信するページを新たに作り、会員目線で会員のニーズにあった情報発信を行う。 4. 会員が望む会員メリットについて、また本会の情報発信ツールやその内容について会員からの意見を聞き、会員のニーズに合った広報のあり方について検討し、広報活動に活かしていく。
■開催予定	7回
■活動事業	1. 広報会議と連携協働して、会員向けの「協会ガイド」と「看護ひょうご」、県民向けの「ささえ」を発行する。 広報委員会で主な内容、連載企画等を企画し、広報会議で具体的な紙面作成を行うなど協働して作成する。 看護ひょうごで、広報委員会の発信するページを新たに作り、会員目線で会員のニーズにあった情報発信を行う。 2. 広報会議と連携協働して、新入会員研修を実施する。 3. 広報委員会において効果的な広報戦略について協議する。広報誌、パンフレット、ホームページ、SNS等情報提供のあり方について見直しを行い、看護協会の広報活動に活かす。 4. 会員等からの意見を聴取し、会員のニーズに応じた取り組みを行う。

令和4年度 支部活動計画

阪神南 支部

支部代表氏名 坪井 幸代

I 支部事業

1. 支部運営会議

- ①支部運営会議 (年10回)
- ②支部会員会 (年2回) * 7月・2月に開催予定

2. 委員会

- ①教育委員会 (年9回)
- ②まちの保健室委員会 (年4回)
- ③医療安全委員会 (年7回)
- ④災害・健康危機対策委員会 (年7回)

3. 教育に関する事項

- ①研修会 (年3回) * 7月・10月・12月に開催
- ②医療安全研修会 (年1回) * 開催月未定
- ③災害支援ナーススキル学習

4. 地域看護活動に関する事項

- ①看護の日（看護フェスタ） 開催日： 令和4年5月19日予定
場 所： アクタ西宮東館
- ②芦屋健康福祉フェア 開催日： 未定
場 所： 未定
- ③西宮市健康フェア 開催日： 未定
場 所： 未定
- ④看護協会ナースセンター・ハローワーク共同事業
令和4年度阪神南圏域看護職合同就職説明会
開催日： 令和5年3月もしくは2月予定

II まちの保健室事業に関する事項

	活動内容等	回数等	備 考
拠点における活動	拠点数	2箇所	
	健康相談活動回数	未定	
	子育て支援活動回数	未定	
	活動ボランティア数	未定	
出前隊	出前隊件数	未定	
	活動ボランティア数	未定	

Ⅲ 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

- ①阪神南圏域健康福祉推進協議会
- ②健康ひょうご21県民運動推進委員
- ③西宮地域保健推進協議会
- ④社会法人西宮市社会福祉事業団 評議会
- ⑤西宮市民健康づくり活動推進協議会
- ⑥阪神南圏域地域医療構想調整会議
- ⑦阪神南圏域地域医療構想調整会議医療部会
- ⑧阪神南圏域（西宮市・芦屋市）リハビリテーション
- ⑨尼崎市地域災害救急医療対策会議
- ⑩阪神医療福祉ネットワーク協議会 理事会
- ⑪県立西宮病院運営懇親会
- ⑫尼崎市地域保健問題審議会

令和4年度 支部活動計画

阪神北 支部

支部代表氏名 竹原 三千代

I 支部事業

1. 支部運営会議

- ①支部運営会議 (年7回)
- ②支部委員会 (年2回)

2. 委員会

- ①教育委員会 (年5回)
- ②まちの保健室委員会 (年5回)
- ③医療安全委員会 (年6回) 交流会2回含む

3. 教育に関する事項

- ①研修会 (年3回)
- ②看護実践報告会 (年1回)

4. 地域看護活動に関する事項

①看護の日

開催日	場 所	備 考
令和4年5月ごろ	未定	COVID-19の動向をみて場所や方法を検討中

②看護フェア

開催日	内 容	場 所	備 考
令和4年6月	猪名川健康福祉フェア	未定	COVID-19の動向をみて考慮する。
令和5年3月	伊丹市健康フェア	未定	COVID-19の動向をみて考慮する。

II まちの保健室事業に関する事項 COVID-19の動向により検討する

	活動内容等	回数等	備 考
拠点における活動	拠点数	26か所	
	健康相談活動回数	—	
	子育て支援活動回数	—	
	活動ボランティア数	—	
出前隊	出前隊件数	—	
	活動ボランティア数	—	

III 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

会議名	出席者
阪神北圏域地域医療構想調整会議	理事または補佐
伊丹市保健医療推進協議会	理事または補佐
丹波圏域地域医療構想調整会議	理事または補佐

丹波圏域健康福祉推進協議会 (介護・福祉部会)	理事または補佐
丹波市手話施策推進協議会	理事または補佐
第2回伊丹市保健医療推進協議会	理事または補佐
阪神北圏域健康福祉推進協議会	理事または補佐
第2回阪神北地域医療構想調整会議	理事または補佐
丹波市手話施策推進協議会	理事または補佐
宝塚市病院事業運営審議会	理事または補佐
丹波圏域健康福祉推進協議会医療部会 及び地域医療構想調整会議	理事または補佐
圏域内各看護学校式典	理事または補佐

IV その他報告内容

①地域別看護職員ネットワークづくり事業

令和4年度 支部活動計画

神戸東部 支部

支部代表氏名 柴田 美由紀

I 支部事業

1. 支部運営会議

- ①支部運営会議 (年7回)
- ②支部会員会 (年2回)

2. 委員会 * COVID-19の状況に応じて開催中止あり

- ①教育委員会 (年6回)
- ②まちの保健室委員会 (年8回)
- ③医療安全委員会 (年6回)
- ④地域連携窓口委員会 (年9回)

3. 教育に関する事項

- ①教育委員会主催
 - ・高次脳機能障害患者の看護を学ぶ 時期：未定 場所：兵庫県看護協会会館
 - ・高齢者の接触嚥下障害の基本とケア 時期：未定 場所：兵庫県看護協会会館
- ②医療安全委員会主催
 - ・チームステップス 時期：令和4年9月2日 場所：兵庫県看護協会会館
- ③地域連携医療主催の交流会
 - ・自己にて医師決定ができない患者に寄り添ったACP支援（仮） 時期：令和4年10月7日 オンライン予定

4. 地域看護活動に関する事項

- ①看護の日 開催日：令和4年5月14日
場 所：兵庫県看護協会会館
- ②看護フェア 開催日：令和4年11月12日
場 所：兵庫県看護協会会館

II まちの保健室事業に関する事項（4月より活動予定）

	活動内容等	回数等	備 考
拠点における活動	拠点数	4箇所	脇の浜地域福祉センター コミュニティプラザ 東灘図書館（令和4年度より） 兵庫医療大学
	健康相談活動回数	6回	
	子育て支援活動回数	未定	
	活動ボランティア数	10名	
出前隊	出前隊件数	未定	
	活動ボランティア数	未定	

Ⅲ 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

会議名：神戸圏域地域構想調整会議：地域包括ケア推進部会	出席者：理事又は代表補佐
会議名：神戸市地域医療推進協議会	出席者：理事
会議名：神戸マラソンメディカル協議会	出席者：理事又は代表補佐
会議名：神戸圏域地域構想調整会議	出席者：理事又は代表補佐
会議名：地域医療構想懇話会	出席者：理事又は代表補佐

Ⅳ その他報告内容

地域別看護職員ネットワークづくり事業

令和4年度 支部活動計画

神戸中部 支部

支部代表氏名 岡本 規子

I 支部事業

1. 支部運営会議

- ①支部運営会議 (年7回)
- ②支部会員会 (年2回)

2. 委員会

- ①教育委員会 (年7回)
- ②まちの保健室委員会 (年8回)
- ③医療安全委員会 (年7回)
- ④災害対策委員会 (年8回)

3. 教育に関する事項

- ①研修会 (年2回)
 - ・人材育成・人材定着 開催日程未定
 - ・災害研修 令和4年9月または10月開催予定

4. 地域看護活動に関する事項

- ①看護の日 開催日 : 令和4年5月14日
場 所 : 兵庫県看護協会会館
- ②看護フェア 開催日 : 令和4年11月12日
場 所 : 兵庫県看護協会会館
- ③兵庫区区民健康のつどい 開催日 : 令和4年10月
場 所 : 未定

II まちの保健室事業に関する事項

	活動内容等	回数等	備 考
拠点における活動	拠点数	10箇所	
	健康相談活動回数	未定	
	子育て支援活動回数	未定	
	活動ボランティア数	未定	
出前隊	出前隊件数	—	
	活動ボランティア数	未定	

Ⅲ 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

- | | |
|------------------------------------|--------|
| ①会議名：兵庫区医療介護連携推進協議会 | 開催日：未定 |
| 場 所：兵庫区医師会 | 出席者：未定 |
| 内 容：未定 | |
| ②会議名：兵庫区医療介護連携推進協議会・
兵庫区消防署連絡会議 | 開催日：未定 |
| 場 所：兵庫区医師会 | 出席者：未定 |
| 内 容：未定 | |
| ③会議名：兵庫区区民健康のつどい準備委員会 | 開催日：未定 |
| 場 所：兵庫区医師会 | 出席者：未定 |
| 内 容：兵庫区健康のつどいの開催に関する事 | |
| ④会議名：神戸回復期リハビリ看護連携会議 | 開催日：未定 |
| 場 所：神戸リハビリテーション病院 | 出席者：未定 |
| 内 容： | |
| ⑤会議名：神戸マラソンメディカル協議会 | 開催日：未定 |
| 場 所：兵庫県民会館 | 出席者：未定 |
| 内 容：令和４年度神戸マラソン医療ボランティアに関する事 | |

Ⅳ その他報告内容

- ・地域別看護職員ネットワークづくり事業

令和4年度 支部活動計画

神戸西部 支部

支部代表氏名 大前 薫

I 支部事業

1. 支部運営会議

- ①支部運営会議 (年7回) 令和4年6月を除く毎月第2木曜15時～17時
②支部委員会 (年2回) 令和4年9月16日、令和5年2月17日

2. 委員会

- ①教育委員会 (年8回) 令和4年4・5・6・8月は休会
②まちの保健室委員会 (年8回) 令和4年4・5・6・8月は休会
③医療安全委員会 (年8回) 令和4年4・5・6・8月は休会
④地域連携窓口委員会 (年8回) 令和4年4・5・6・8月は休会

3. 教育に関する事項

- ①教育委員会主催 実技研修 令和4年12月 呼吸のフィジカルアセスメント
②教育委員会主催 実技研修 令和5年3月 慢性疾患と高齢者
③地域連携窓口委員会主催 可能であれば施設見学、不可の場合講演会を企画
④地域連携窓口委員会主催 診療所カフェ 令和5年2月の実施予定
⑤西部委員会主催 研修会 年2回(令和4年9月16日・令和5年2月17日)
医療安全をテーマに(医療安全委員会主催研修会とする)

4. 地域看護活動に関する事項

- ①看護の日 *神戸3支部合同 開催日 : 令和4年5月14日
場 所 : 兵庫県看護協会会館
②看護フェア *神戸3支部合同 開催日 : 令和4年11月12日
場 所 : 兵庫県看護協会会館

II まちの保健室事業に関する事項

	活動内容等	回数等	備 考
拠点における活動	拠点数	12箇所	再開できる拠点から進めていく
	健康相談活動回数	—	
	子育て支援活動回数	—	
	活動ボランティア数	約30名	再募集中
出前隊	出前隊件数	—	
	活動ボランティア数	約30名	

*その他の活動(機関紙発行等の活動)

ボランティア研修会 未定

Ⅲ 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

会議名：神戸マラソンメディカル協議会

開催日：未定（年３～４回）

場 所：兵庫県民会館

出席者：未定

内 容：令和４年度神戸マラソン医療ボランティアについて

その他の連携会議等は未定

令和4年度 支部活動計画

東播 支部

支部代表氏名 清水 直美

I 支部事業

1. 支部運営会議

- ①支部運営会議 (年9回)
②支部会員会 (年2回)

2. 委員会

- ①教育委員会 (年9回)
②まちの保健室委員会 (年9回)
③医療安全（地域ケア・看看連携）委員会 (年9回)
④災害医療委員会 (年9回)

3. 教育に関する事項

①研修会 (年7回)

研修会名	開催年月日	場 所	講 師
新人向けのメンタルヘルスケア 「ストレスに負けない自分づくり」	令和4年7月9日	兵庫県看護協 会会館	京都橘大学 看護部 精神看護学助教 十倉絵美 氏
医療安全における行動特性について	令和4年8月頃	未定	調整中
まちの保健室活動現状について	令和4年9月3日	兵庫県立大学 地域ケア開発 研究所+オン ライン	兵庫県立大学地域ケア開 発研究所 林 知里 氏
第2回東播地区各施設の災害に備え た取り組み	令和4年9月～ 11月頃	未定	県立加古川医療センター 東播支部災害医療委員 県立淡路医療センター 東播支部災害医療委員
認知症の人との適切なかかわり方	令和4年11月頃	オンデマンド またはライブ	加古川中央市民病院 認知症看護認定看護師 寺田美奈子 氏
誤薬に対する行動特性について	令和4年12月頃	未定	調整中
災害支援ナース交流会 (災害時の協力体制の強化推進)	令和5年1月～ 3月頃	未定	調整中

②看護実践報告会 中止

4. 地域看護活動に関する事項

- ①看護の日 開催日 : 令和4年5月17日
場 所 : 加古川ニッケパークタウン
- ②看護フェア 開催日 : 未定
場 所 : 加古川ツデーマーチ
魚住しみずフェスタ
明石王子フェスタ

③その他

高校文化祭、コミュニティセンター、高年クラブ、自治会、町のサロン、街づくり協議会、スポーツ振興会、明石総合支援センター、稲美町総合支援センターなどで開催

II まちの保健室事業に関する事項

	活動内容等	回数等	備 考
拠点における活動	拠点数	15箇所	
	健康相談活動回数	20回	
	子育て支援活動回数	10回	
	活動ボランティア数	150名	
出前隊	出前隊件数	10件	
	活動ボランティア数	150名	

※その他の活動（機関紙発行等の活動）

まちの保健室における研修会、機関誌発行等の活動

III 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

※開催日、場所、出席者、内容 未定

- ①会議名：加古川市介護保険運営協議会
- ②会議名：淡路圏域健康福祉推進協議会
- ③会議名：淡路精神保健福祉協議会
- ④会議名：加古川市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会
- ⑤会議名：こころ豊かな美しい東播磨推進会議
- ⑥会議名：東播磨災害時地域医療対策会議
- ⑦会議名：1市2町在宅医療・介護連携推進会議
- ⑧会議名：明石医療センター附属看護専門学校戴帽式
- ⑨会議名：医療・介護連携推進会議
- ⑩会議名：新型インフルエンザ対策訓練
- ⑪会議名：東播磨圏域健康福祉推進協議会 地域医療構想調整会議
- ⑫会議名：東播磨圏域健康福祉推進協議会医療部会
- ⑬会議名：看護学校等卒業式

IV その他報告内容

※ 地域別看護職員ネットワークづくり事業参加予定

令和4年度 支部活動計画

北播 支部

支部代表氏名 小林 孝代

I 支部事業

1. 支部運営会議

- ①支部運営会議 (年12回)
- ②支部会員会 (年3回)

2. 委員会

- ①教育委員会 (年12回)
- ②まちの保健室委員会 (年12回)
- ③医療安全委員会 (年12回)
- ④健康危機対策委員会 (年12回)

3. 教育に関する事項

- ①講演会 (年2回)
 - ・教育委員会企画講演会：1回
 - ・まちの保健室委員会企画講演会：1回
- ②研修会 (年6回)
 - ・教育委員会企画研修会：3回
 - ・医療安全委員会企画研修会：1回
 - ・災害・健康危機委員会企画研修会：1回
- ③リスクマネージャー交流会 (年2回)
- ④災害支援ナース交流会 (年1回)
- ⑤看護実践報告会 (年1回)

4. 地域看護活動に関する事項

- ①看護の日(計画中)
 - 開催日：令和4年5月14日
 - 場所：やしろショッピングパーク Bio

II まちの保健室事業に関する事項

	活動内容等	回数等	備考
拠点における活動	拠点数	6箇所	
	健康相談活動回数	—	
	子育て支援活動回数	—	
	活動ボランティア数	確認中	
出前隊	出前隊件数	—	
	活動ボランティア数	—	

Ⅲ 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

※開催日、場所、出席者、内容 未定

- ①会議名：北播磨保健医療福祉連絡協議会
- ②会議名：災害時北播磨地域医療対策会議
- ③会議名：北播磨圏域地域医療構想調整会議
- ④会議名：健康ひょうご21県民運動北播磨会議
- ⑤会議名：こころ豊かな美しい北播磨推進会議

Ⅳ その他報告内容

- ①施設代表者会議 (年1回)
- ②北播磨地域看護合同就職説明会 (年1回)

令和4年度 支部活動計画

西播 支部

支部代表氏名 駒田 香苗

I 支部事業

1. 支部運営会議

- ①支部運営会議 (年8～10回) ※状況に応じてオンライン会議併用
②支部会員会 (年3回 6/25・10/15・2/18 予定)

2. 委員会 ※状況に応じてWeb会議併用

- ①教育委員会 (年7回)
②まちの保健室委員会 (年6回)
③医療安全委員会 (年6回)
④健康危機対策委員会 (年8回)
⑤地域連携委員会 (年9回)

3. 教育に関する事項

①研修会 (年8回) ※調整中

研修テーマ	日 時	対 象	場 所
糖尿病看護【基礎編】	令和4年5月28日	60名	オンライン研修
慢性心不全患者の看護	令和4年9月24日	60名	オンライン研修
看護師による摂食嚥下アセスメント	令和4年11月5日	60名	オンライン研修
まちの保健室ボランティア研修会 ～認知症ケアについて～	令和4年11月19日	未定	姫路市医師会館
医療安全研修会第1回 テーマ：対応困難事例の法的視点からの効果的な対応	令和4年6月4日	40名	姫路商工会議所 (オンライン併用)
医療安全研修会第2回 テーマ：多職種実践報告会	令和4年11月12日	40名	姫路商工会議所
医療安全に関する研修 テーマ：やりがいあるよ医療安全！ ～活動を促進する要素って何～	令和4年9月3日	80名	未定（オンライン併用）
アクションカード研修	令和4年7月23日	40名	姫路聖マリア病院 (オンライン併用)

②看護実践報告会 (年1回)

日 時	対 象	場 所	内 容
令和5年1月28日予定	200名	オンライン開催	基調講演：(未定、地域の専門看護師、大学教員など)

③各種交流会 (年2回)

内 容	テーマ	日 時	対 象	場 所
災害支援ナース交流会	調整中	令和4年9月17日	20～30名	姫路大学(予定)
看看連携交流会	調整中	未定	未定	未定

4. 地域看護活動に関する事項

- ①看護の日のイベント 開催日：令和4年5月14日（予定）
場 所：姫路駅周辺

II まちの保健室事業に関する事項

	活動内容等	回数等	備 考
拠点における活動	拠点数	18箇所	
	健康相談活動回数	80回	(介護・物忘れを含む)
	子育て支援活動回数 (まちの子育てひろばを含む)	15回	
	活動ボランティア数	110名	
出前隊	出前隊件数	10件	
	活動ボランティア数	50名	

III 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

- ①中播磨・西播磨圏域健康福祉推進協議会
- ②中播磨・西播磨圏域健康福祉推進協議会 医療部会・介護福祉部会
- ③中播磨圏域健康福祉推進協議会 健康づくり部会
- ④健康ひょうご21県民運動中播磨会議・西播磨会議
- ⑤こころ豊かな美しい中播磨・西播磨推進会議
- ⑥姫路市地域医療連絡会会議
- ⑦姫路市防災会議
- ⑧姫路市国民保護協議会
- ⑨姫路市保健所運営会議協議会

IV その他

- 1) 看護職合同就職説明会 in 西播
日時：令和5年1月15日（予定）
場所：オンライン開催を検討
- 2) 地域別看護職員ネットワーク事業
日時：令和4年11月26日（予定）
場所：未定
内容：調整中
- 3) 学会発表（1演題）：
・災害看護学会 令和4年9月3日・4日 減災に関するアンケート結果発表

令和4年度 支部活動計画

但馬 支部

支部代表氏名 福井 あけみ

I 支部事業

1. 支部運営会議

- ①支部運営会議 (年8回)
- ②支部会員会 (年2回)

2. 委員会

- ①教育委員会 (年11回)
- ②まちの保健室委員会 (年12回)
- ③医療安全委員会 (年7回)
- ④地域連携・健康危機委員会 (年5回)

3. 教育に関する事項

- ①研修会 (年5回)
- ②看護実践報告会 (年1回)

4. 地域看護活動に関する事項

- ①看護の日
開催日 : 令和4年5月
場 所 : 各施設で計画実施
- ②ふれあい看護体験
開始日 : 令和4年7月～8月 夏休み
場 所 : 各施設で計画実施

II まちの保健室事業に関する事項

	活動内容等	回数等	備 考
拠点における活動	拠点数	11箇所	
	健康相談活動回数	22数	各拠点年2回
	子育て支援活動回数	30数	施設の希望により
	活動ボランティア数	130名	各施設2名
出前隊	出前隊件数	9件	認知症カフェ、看護の日 地域イベント 等
	活動ボランティア数	40名	

III 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項 ※開催日、場所、内容 未定

- ①但馬圏域健康福祉推進協議会 出席者：福井あけみ
- ②豊岡市消防本部救急業務懇話会 出席者：福井あけみ
- ③但馬地区訪問看護師テーション連絡協議会 出席者：福井あけみ
- ④健康但馬21総会 出席者：福井あけみ

令和 4 年度 支部研修計画

支部	No	研修名	定員
阪神南	600	対応が困難なスタッフへの関わり方	300
	601	医療業界におけるCSの考え方	調整中
	602	病院と地域の連携	300
	603	災害支援ナーススキル学習（仮）	300
阪神北	610	特定行為	調整中
	611	医療接遇	調整中
	612	看護実践報告会	調整中
神戸東部	620	高齢者の摂食嚥下障害の基本とケア	30
	621	高次脳機能障害患者の看護を学ぶ	30
	622	チームステップス 基礎編	50
	623	コロナ禍での緩和ケアの取り組み	30
神戸中部	630	人材育成・人材定着	100
	631	（仮）BCP・初動について	60
神戸西部	640	呼吸のフィジカルアセスメント	調整中
	641	慢性疾患と高齢者	調整中
東播	650	まちの保健室活動現状について	調整中
	651	認知症の人との適切なかかわり方	300
	652	新人向けのメンタルヘルスケア	調整中
	653	医療安全における行動特性について	300
	654	誤薬に対する行動特性について	300
	655	第2回東播地区各施設の災害に備えた取り組み	100
	656	災害支援ナース交流会	調整中
北播	660	看護研究を基礎から学ぼう	30
	661	一多職種の連携を円滑に図るために－対人関係力を伸ばすコミュニケーションスキル	70
	662	アクションカードを作ろう！	30
	663	暴言暴力ハラスメント対策 KYT ー実践編ー	70
西播	670	糖尿病看護【基礎編】	60
	671	慢性心不全患者の看護	60
	672	看護師による摂食嚥下アセスメント	60
	673	看護実践報告会	200
	674	まちの保健室ボランティア研修会	調整中
	675	医療安全活動を促進する因子（仮）	80
但馬	680	これならできる！認知症の人とのコミュニケーション－病院、施設で活用できる認知症看護－	40
	681	みて・きいて・感じるフィジカルアセスメント	40
	682	但馬支部 看護実践報告会	100
	683	身体拘束回避に向けた取り組み	80

令和4年度 教育認定部 事業計画

令和4年度は2025年を見据えて、全世代型地域包括ケアシステムを支えるためには、あらゆる場で働く看護職の看護実践能力、キャリアアップを支援するとともに、看護の質向上、役割拡大を目指す。昨年に引き続き、オンライン研修システムをさらに効果的に運用し、より多くの会員が受講できるよう、また会員のニーズに応じた研修を企画した。

1. 時代のニーズに対応できる看護職の人材育成

ますます進む少子高齢化社会のニーズに対応できる看護の機能・能力向上、役割拡大を支援するために、個々のキャリアに応じた継続教育を基本とする研修を実施する。今年度は研修を6つに分類し、看護職個々の受講ニーズに合わせた研修が容易に選択できるよう新たな分類で構成した。また研修項目には日本看護協会が公表している「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」および「病院看護管理者のマネジメントラダー（日本看護協会版）」を表示し、受講者のラダーにあった研修を選択できるようにした。また、継続的にキャリアアップしていけるよう、段階的に受講できる研修やフォローアップ研修、シリーズ化研修等を企画した。さらに、コロナ禍における現場のニーズに応じ、新人看護師の育成、メンタルヘルスケア、基本的な病態生理の理解および看護を学び実践につなげる研修を企画した。

2. 2025年の医療・介護ニーズに対応する看護職の役割拡大

地域包括ケアを担うあらゆる場で働く看護職の看護実践能力向上、専門性の高い看護職の人材育成は喫緊の課題である。看護職の役割拡大、専門性を強化し地域の医療・看護・介護を支えていく看護師の人材育成強化のために、今年度も認知症看護認定看護師教育課程B課程を開講する。看護職の専門性と役割拡大を担う人材育成を実施する。

3. 地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育

高齢者・妊産婦・乳幼児など全世代を対象とした地域包括ケアシステムの充実にむけ、在宅療養支援に向けた退院支援、外来看護、小児在宅移行支援に関する研修を実施する。また、地域包括ケアを推進・強化するためにはさらに多職種連携が重要である。これを進めていく上で要となるのは看護管理者である。認定看護管理者教育課程の開催、看護管理者を対象とした継続教育研修を実施し、社会の動向を見据え創造的に柔軟に変革できる看護管理者を育成する。

4. あらゆる場で働く看護職の実践能力の向上と、リソースナースの活用

病院だけでなく、介護施設、訪問看護ステーション、診療所等あらゆる場で働く看護師の実践能力の向上、看護の質向上を目指し、県内のリソースナースの活用を推進する。

Hyogo リソースナース net への登録者を増やし、リソースナースを多くの場で活用できる体制を強化する。訪問看護ステーション、クリニック、介護施設等への周知と活用を推進し、あらゆる場で働く看護職の看護実践能力の向上を支援する。

（教育研修計画については、令和4年度教育研修計画参照）

教育研修計画

【教育理念】

兵庫県看護協会は、保健・医療・福祉のニーズの多様化、複雑化に柔軟に対応し、質の高い看護を提供できるよう看護職の生涯にわたる学習を支援し、専門職としての自覚と誇りが持てる人材を育成する。

【教育目的】

1. 倫理綱領に基づいた看護が実践できる看護職を育成する。
2. 社会が求める質の高いヘルスケアサービスの提供ができる看護職を育成する。
3. 地域包括ケアシステムが推進できる看護職を育成する。

【教育目標】

1. 研究的・科学的思考による看護実践ができる看護職を育成する。
2. 的確な判断に基づいて、必要な看護が安全に実践できる看護職を育成する。
3. ケアの受け手の尊厳と多様性を尊重し、意思決定を支えることができる看護職を育成する。
4. 多職種と連携・協働し、コーディネートできる看護職を育成する。
5. ICTを有効に活用し、情報の管理と運用ができる看護職を育成する。
6. 社会の動向を見据え、創造的に柔軟に変革できる看護管理者を育成する。

【研修の特徴】

1. 「受講の目安」としてラダーレベルを表記し、自身にあった研修を選択しやすくした。
2. 会員の皆様の研修希望に対するアンケート結果をふまえ、新規研修を企画した。特に関心の高かった「COVID-19 関連」や「高齢者看護」はシリーズ研修とした。
3. 研修で得た知識・技術を実践につなげるために、フォローアップ研修を増やした。
4. より専門的な最新の知識を習得し、看護実践で活用できることを目標に、県内の専門看護師や認定看護師、認定看護管理者を講師やファシリテーターとして選定した。

【新たな研修分類】

1	看護師・准看護師を対象とした継続教育	1)新人研修(新人～3年目)
		2)ジェネラリスト研修
		3)教員・実習指導者を対象とした研修
		4)診療報酬に関連した研修
		5)准看護師を対象とした研修
		6)復職支援・離職防止のための研修
		7)研究会・講演会
2	助産師を対象とした継続教育	
3	保健師を対象とした継続教育	
4	看護管理者を対象とした継続教育	1)看護管理者を対象とした研修
		2)これから看護管理を担う人々対象の研修
5	資格認定教育	1)認定看護管理者教育課程
		2)認知症看護認定看護師教育課程(B課程)
6	支部研修	

令和4年度教育研修計画の基軸となる教育理念・教育目的・教育目標の改定について

令和3年7月に「兵庫県看護協会活動のあり方ー2040年を展望してー」が策定されたことを踏まえ、教育理念・教育目的・教育目標を改定した。

教育理念・教育目的・教育目標	解説
【教育理念】 兵庫県看護協会は、保健・医療・福祉のニーズの多様化、複雑化に柔軟に対応し、質の高い看護を提供できるよう、 <u>看護職の生涯にわたる学習を支援し、専門職としての自覚と誇りが持てる</u> (1)人材を育成する。	(1) 看護師免許は生涯を通じたライセンスである。人生100年時代となり、 <u>離職することなく、継続的に学習することが、専門職に課せられている</u> 。本会ではその自覚と自信、誇りをもって働き続けてられるよう支援する。
【教育目的】 1. <u>倫理綱領に基づいた看護が実践できる看護職を育成する</u> (2)。 2. 社会が求める質の高いヘルスケアサービスの提供ができる看護職を育成する。 3. 地域包括ケアシステムが推進できる看護職を育成する。	(2) 「 <u>看護職の倫理綱領</u> 」は、全ての看護職が看護を実践する際の行動指針であるため、教育目的とした。
【教育目標】 1. <u>研究的・科学的思考</u> (3)による看護実践ができる看護職を育成する。 2. <u>的確な判断に基づいて、必要な看護が安全に実践できる</u> (4)看護職を育成する。 3. ケアの受け手の <u>尊厳と多様性を尊重し、意思決定を支える</u> (5)ことができる看護職を育成する。 4. <u>多職種と連携・協働</u> (6)し、コーディネートできる看護職を育成する。 5. <u>ICTを有効に活用し、情報の管理と運用</u> (7)ができる看護職を育成する。 6. <u>社会の動向を見据え、創造的に柔軟に変革</u> (8)できる看護管理者を育成する。	(3) 「 <u>研究的思考法</u> 」とは、研究の技法である EBP（科学的エビデンスに基づく実践）の応用であり、科学的根拠に基づいた看護実践につながる。また、「 <u>科学的思考力</u> 」とは、合理的かつ客観的に考え、説明できる（説明責任を果たす）ということである。 (4) 情報収集能力、観察力、アセスメント能力などを身に付け、安全と安心を第一に考えた看護実践が必要である。 (5) ケアの受け手の意思決定する権利を尊重し、最良の選択ができる支援が必要である。 (6) 地域包括ケアシステムの推進には多職種連携・協働が必要不可欠である。 (7) 質の高い医療介護サービスが享受できる社会を実現するために、ICTの導入や推進に向けて、 <u>看護職が情報通信技術の分野で管理や活用ができる能力開発が期待されている</u> 。 (8) <u>看護管理者には、地域包括ケアシステムを推進できる「先見性を持つ」力や「地域社会の中でリードする」力が期待されている</u> 。

令和4年度教育研修計画（教育認定部）

研修名				形式	時間数	レベル
看護師・准看護師を対象とした継続教育						
新人研修(新人～3年目)						
新人看護職員 集合研修	1) フィジカルアセスメント	集	5.5	新人		
	2) 看護倫理	集	5.5	新人		
	3) 救命救急処置技術	集	5.5	新人		
	4) 高齢者へのケア	集	5.5	新人		
これだけは知っておきたい 感染症の基礎知識と予防対策				集	5.5	I～II
看護実践における倫理 基礎編 ー倫理を意識した行動をとるためにー				H	5.5	I～II
楽しく学ぼう循環器！ー心不全患者の理解と看護ー				II	5.5	II
高齢者の暮らしを 支えるケア	1) 検査所見の見方・捉え方	II	3	II		
	2) 感染管理	H	3	II		
	3) 薬物療法と療養支援	H	3	II		
	4) 摂食嚥下障害ケア	H	3	II		
	5) スキンケアと褥瘡予防	H	3	II		
	6) 認知症ケア	II	3	II		
看護研究はじめの一步				II	5.5	I
ジェネラリスト研修						
感染対策エキス パートナース 養成研修	ベーシックコースⅠ	H	調整中			
	ベーシックコースⅡ	H	調整中			
	アドバンスコース	II	調整中			
専門看護師の実践から学ぶ！ 看護現場で遭遇する倫理的ジレンマへの対応				H	5.5	III
チームで取り組む倫理的問題への対応				H	5.5	IV～V
人生の最終段階の意思決定支援part2 ーコミュニケーションスキル向上のためにー				II	5.5	III
「私らしく」を支える看取り				II	5.5	III
重症化・急変予測に必要なスキル ー臨床判断力を磨こうー				II	5.5	III
今日から使えるアンガーマネジメント ーイライラ、怒りの感情と上手に付き合う方法ー				集	5.5	III
病院ナースが知っておきたい在宅療養の実践				II	5.5	III
スタッフナースが取り組む退院支援				H	11.5	III
退院支援実務者研修				H	22	III
災害が発生したらどう対応しますか？ ー被災病院における初動対応ー				集	5.5	
今日から役立つせん妄ケア ー高齢入院患者のせん妄を防ぐー				II	5.5	II
フレイル・サルコペニアの視点から考える 摂食嚥下ケア ーその人らしく生きるためにー				II	5.5	III
知っておきたい 認知症看護	1) エビデンスに基づいたケア	集	5.5	III		
	2) コミュニケーションと 療養環境づくり	集	5.5	III		
病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修①				H	3	
病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修②				H	3	
呼吸器疾患をアセスメントするために 知っておきたい知識【COVID-19シリーズ研修】				II	5.5	II
コロナ禍における糖尿病の療養支援を考える 【COVID-19シリーズ研修】				II	5.5	III
そこが知りたい！ 慢性腎臓病と透析看護	1) 慢性腎臓病患者の療養支援	II	5.5	III		
	2) 透析療法の理解とセルフケア支援	H	5.5	III		
治療を受けながら人と共に生きる人を支える 看護師の役割				II	5.5	III
よくわかる看護研究の実践 ーレッツ!! 研究計画書の作成ー				集	11	III～IV
指導者のための看護研究支援のコツ				II	5.5	IV
新人看護職員 卒後臨床研修事業	実地指導者研修	H	22	II		
	新教育担当者研修	H	22	IV		
	新研修責任者研修	H	22	V		
介護職員等によるたんの吸引等研修事業指導者講習会①				H	8.5	
介護職員等によるたんの吸引等研修事業指導者講習会②				II	8.5	
介護職員等によるたんの吸引等研修事業指導者講習会 フォローアップ研修ー指導者情報交換会ー				II	3.5	
教育・実習指導者						
ウィズコロナ社会に対応する新人看護師の育成				II	3	
実習指導者講習会フォローアップ研修 ー看護実践力を高める実習指導の方法ー				H	5.5	III
専任教員養成講習会				II	7ヶ月間	
兵庫県看護学校協議会共催研修(1)				調整中		
兵庫県看護学校協議会共催研修(2)				調整中		

研修名				形式	時間数	レベル
看護師・准看護師を対象とした継続教育						
診療報酬に関連した研修						
認知症高齢者の看護実践に必要な知識① 【JNA収録DVD研修】				集	12	
認知症高齢者の看護実践に必要な知識② 【JNA収録DVD研修】				集	12	
看護職員認知症対応力向上研修①				集	18	IV
看護職員認知症対応力向上研修②				集	18	IV
糖尿病重症化予防(フットケア) 研修				H	16	III
医療対話推進者養成研修				O	20	IV以上
小児在宅移行支援指導者育成研修				集	11.5	
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修①				集	5	III以上
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修②				集	5	III以上
准看護師を対象とした研修						
准看護師のための看護実践力スキルアップ ー急変対応と感染予防策ー				II	5.5	
研究会・講演会						
看護実践研究会				H		
感染管理認定看護師交流会				H		
助産師を対象とした継続教育						
新人助産師 集合研修	1) 産褥期の看護	II	5.5	新人		
	2) 新生児の看護	H	5.5	新人		
	3) 妊娠期の看護	II	5.5	新人		
	4) 分娩期の看護	II	5.5	新人		
助産師実践能力向 上研修	1) チームで乗り切ろう!! 分娩期の怖～い場面！	II	5.5			
	2) 妊産婦から始める骨盤ケア	H	5.5			
	3) 現場で取り組む母乳育児支援	H	5.5			
	4) 産後ケアに活かす育児と メンタルヘルスケアの基礎知識	II	5.5			
	5) 周産期の感染予防対策 ーCOVID-19を中心にー	II	5.5			
看護管理者を対象とした継続教育						
看護管理者のためのCOVID-19に関連した メンタルヘルスケア【COVID-19シリーズ研修】				II	5.5	III以上
在宅療養支援における外来看護管理者の役割				II	5.5	III以上
人材育成のためのクリニカルラダーの活用方法 ースタッフのキャリア支援につなげるー				H	3	III以上
主任のための役割講座				II	11	MI
看護師長のための役割講座				H	11	MI
論文の書き方①				O	5.5	
論文の書き方②				O	5.5	
論文の書き方③				O	5.5	
資格認定教育						
1. 認定看護管理者教育課程						
ファーストレベルⅠ期				II	105	
ファーストレベルⅡ期(週末コース)				H	105	
ファーストレベルⅢ期				H	105	
セカンドレベル				H	180	
サードレベル				II	180	
令和3年度ファーストレベルⅢ期フォローアップ研修				II	6	
令和3年度ファーストレベルⅣ期フォローアップ研修				H	6	
令和4年度ファーストレベルⅠ期フォローアップ研修				II	6	
令和4年度ファーストレベルⅡ期フォローアップ研修				II	6	
ファーストレベル公開講座(1)				O	調整中	
ファーストレベル公開講座(2)				O	調整中	
ファーストレベル公開講座(3)				O	調整中	
セカンドレベル公開講座(1)				O	調整中	
セカンドレベル公開講座(2)				O	調整中	
セカンドレベル公開講座(3)				O	調整中	
サードレベル公開講座(1)				O	12	
サードレベル公開講座(2)				O	6	
サードレベル公開講座(3)				O	6	
看護管理実践発表会				H	5	
2. 認定看護師教育課程						
認知症看護認定看護師教育課程(B課程)					805	
特定行為研修修了者の実践報告会				II		
CNS/CN/認定看護管理者実践報告会				II		

【形式：集＝集合研修／H＝集合・オンライン併用／O＝オンラインのみ】 【レベル：受講の目安となるラダーレベル】

令和4年度 地域ケア事業部 事業計画

I 組織の運営に関する事項

- 1 兵庫県看護協会立訪問看護ステーション3事業所の統括、及び健全運営支援
 - 1) 協会立居宅サービス事業所所長及び管理者会の定期開催による、情報の共有及び課題整理と対策の検討
開催回数：概ね月1回（年間10回）、参加数：5～7人/1回、開催場所：尼崎事業所、オンライン会議等
 - 2) 尼崎市認知症初期集中支援推進業務（認知症初期集中支援チーム業務）の受託及び運営
 - 3) メンタルヘルス対策事業の継続
 - 4) 兵庫県訪問看護ステーション教育支援強化事業（教育ステーション）の申請
 - 5) 機能強化型訪問看護ステーション（尼崎）の地域等への貢献活動（まちの保健室開催、他事業所支援等）
- 2 兵庫県看護協会主催の事業（地域ケア・地域看護推進委員会、看護の日、看護フェア等）への参加

II 人材育成及び臨地実習生の受け入れ

- 1 訪問看護人材育成事業（基金事業）の支援
 - 1) 在宅看護連携強化事業
（1）「看看連携研修」研修生の受け入れ
（2）訪問看護推進会議への参画
 - 2) 研修事業（訪問看護導入研修、機能強化型訪問看護ステーション交流会等）
- 2 多様化する在宅ケアに対応できる人材の確保と人材育成の強化（地域ケア事業部職員）
 - 1) 職員に対する職場研修・派遣研修及び自己研鑽の支援
 - 2) 他事業所や関係機関が主催する研修等への講師派遣
 - 3) 介護職員への喀痰吸引等（第三号研修）の実地研修
 - 4) 職業能力評価シートでの個人評価の継続
- 3 実習生及び体験実習の受入（各事業所で実施）
認定看護師教育課程受講生・看護学生・医学部生・衛生看護科生等の臨地実習生・体験実習等

III 訪問看護支援事業の継続

衛生材料の共同購入事業を、業者との連携により継続する。

IV 関連機関、関係団体との連携および会議出席

会 議 名	回数	開催場所	内 容
兵庫県訪問看護ステーション 連絡協議会総会・理事会・幹事会	年12回	兵庫県看護協会 会館	兵庫県訪問看護ステーション連絡 協議会の活動・予算決算・情報提 供等
近畿地区看護協会立訪問看護 ステーション統括者・管理者交流会	年1回	兵庫県看護協会 会館	近畿地区看護協会立訪問看護ステ ーションの情報交換及び意見交換

V 行政（尼崎市）の審査会議等への出席

- 1 保健所運営協議会
- 2 介護認定審査会
- 3 尼崎市地域包括支援センター運営部会
- 4 県立尼崎総合医療センター運営懇話会

VI 事業目標 令和4年4月1日～令和5年3月31日

1 訪問看護事業

項目			尼崎		出石		神戸
介護 保険	年間訪問 延件数	訪問看護 (リハ60分1件)	8,600		3,100		2,600
医療 保険	年間訪問 延件数	訪問看護	97,600		2,500		1,400
担当 職員	職種		看護師	理学療法士	看護師	理学療法士	看護師
	正規職員数		12	1	4	0	5
	非正規職員数		10	1	6	1	0
	常勤換算数		19.68	1.8	7.4	1	5.0

2. 居宅介護支援事業

項目		尼崎	神戸
介護度		計画策定延件数	計画策定延件数
要支援		252(504)	96(192)
要介護		1,488	744
計		1,740	840
担当職員1人当たり件数 (要支援=0.5件)		32.2/月	35.0/月
担当職員	正規職員数	5	2
	非正規職員数	0	0
	常勤換算数	5	2.0

3. 訪問介護事業（尼崎）

障害福祉	年間訪問延件数	居宅介護	1,600
		重度訪問介護	2,500
介護保険	年間訪問延件数	専門型訪問介護	250
		訪問介護	3,500
担当職員	正規職員数	2	
	非正規職員数	7	
	常勤換算数	5.43	